

定例公安委員会の開催状況について

令和5年11月30日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 令和6年度当初予算要求概要（主な要求事業）

令和6年度当初予算要求の主な概要について報告があった。

委員から、警察車両へのドライブレコーダーの装備など、これまで公安委員会で話し合われてきた内容について、具体的な予算要求がなされたことを評価する旨の発言があった。

委員から、今後、運転免許証とマイナンバーカードが一体化することについて、利便性が高まる一方、セキュリティの問題や紛失時等の再発行手続きに時間を要することが考えられるので、運用面をよく検討しながら準備してほしい旨の発言があった。

(2) 山形駅周辺における風俗環境の浄化について

山形駅周辺における違法風俗店の摘発状況や、風俗環境の浄化に向けた今後の課題と対策について報告があった。

委員から、風俗環境の乱れは、薬物事犯や反社会勢力の活動を助長させることにつながることから、サイバーパトロールなどによる情報収集を強化し、厳正に取り締まっていたいただきたい旨の発言があった。

委員から、違法な風俗店等は、積極的な取締りによって排除していく必要があるとする県警察としての認識には全く同感であり、対策として、サイバーパトロールの強化なども有効と思う旨の発言があった。

委員から、部門横断による情報共有によって取締強化に取り組んでほしい旨の発言があったほか、ホストクラブについては社会問題になっており、県内で違法な営業を行っている店舗がないか点検しておく必要がある旨の発言があった。

(3) 殺人、死体遺棄事件の検挙について

鶴岡警察署管内における殺人、死体遺棄事件の検挙について報告があった。

委員から、起訴に至るまでの捜査に、多くの捜査員が従事したと聞き、大変な苦勞を伴う捜査を経て起訴に至ったものと評価する旨の発言があったほか、重大事件を検挙することが県民の体感治安の向上につながるため、今後も捜査を尽く

して事件の検挙に当たってほしい旨の発言があった。

委員から、捜査員の育成のため、様々な機会に捜査に従事させて経験を積ませてほしい旨の発言があった。

(4) 若手機動隊員の実務研修について

若手機動隊員の専務係登用（地域警察官以外の生活安全、刑事、交通、警備などの専門的な係への登用）を見据えた、計画的な実務研修の実施について報告があった。

委員から、各署において新たに指導教養を受けるもので、この指導方針は非常に重要である。旨の発言があった。

委員から、この研修は、警察学校卒業後に各署の地域課に配属され、交番勤務の経験のみで機動隊員となった隊員が、専務係としての業務を研修する貴重な機会であり、様々な業務を体験することで、自らの適性を見極める機会にもなり得る大変貴重な研修であることから、引き続き効果的な研修となるよう取り組んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、研修の対象は、若手警察官であり、対象の警察官から存分に力を発揮して貰うためにも、指導する側は、隊員の人格、精神力、判断力を磨き、実務能力の向上につながるよう効果的な指導に努めていただきたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

○ 運転免許関係行政処分審査

警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞結果について説明を受け、決定を行った。

○ 令和6年度予算要求概要説明

警察本部から、令和6年度予算要求の概要について説明があった。

○ 国税庁長官からの感謝状受賞報告

警察本部から、国税庁長官からの感謝状受賞について報告があった。

○ 令和6年山形県警察運営の指針説明

警察本部から、令和6年山形県警察運営の指針について説明があった。

○ 公安委員会と教育委員会との意見交換会開催説明

警察本部から、公安委員会と教育委員会との意見交換会について説明があった。